

I. キリストのからだの一は三一の神の中の一であり、ヨハネ第17章の主の祈りにおいて啓示されています。キリストのからだの一は、神聖な三一の拡大された一です。

ヨハネ17:11 私はもはや世にいません。彼らは世にいますが、私はあなたに行きます。聖なる父よ、あなたが私に与えてくださったあなたの御名の中で、彼らを守ってください。それは、私たちのように、彼らが一となるためです。21 それは、彼らがすべて一となるためです。父よ、あなたが私の中におられ、私があるあなたの中にいるように、彼らも私たちの中にいるためであり、あなたが私を遣わされたことを、世の人が信じるためです。22 あなたが私に与えてくださった栄光を、私は彼らに与えました。それは、私たちが一であるように、彼らも一となるためです。23 私が彼らの中におり、あなたが私の中におられるのは、彼らが成就されて一となるためです。…

ヨハネによる福音書第17章における主の祈りの主題は一です。…その時、この一はまだ実際ではありませんでした。しかしながら、この一の原型、すなわち、神聖な三一の三者の間の一がそこにありました。御父と御子は一であり、この一はその霊を暗示する、あるいは含みます。

エペソ4:3 平和の結合するきずなの中で、その霊の一を保つことを熱心に努めなさい。4 一つからだ一つ霊、それはあなたがたも、あなたがたの召しの一つ望みの中で召されたようにです。5 一つ主、一つ信仰、一つバプテスマ。6 すべてのものの神また父は一つ、この方はすべての上に、すべてを貫き、すべての中におられるのです。

II. 主がヨハネ第17章で祈った一は、出エジプト記第26章の幕屋によって予表される一です。幕屋の四十八枚の枠板は、信者たちが共に建造されて神の住まいとなることを予表するので、幕屋は三一の神の中の一の明確な絵です：

出26:15 また、あなたは幕屋のために、アカシア材で、真っすぐに立てる枠板を作らなければならない。24 それらは下で重なり合い、その頂では一つの環に完全につながり、二枚ともそのようにしなければならない。それらは二つの隅のためである。25 枠板は八枚で、その銀の台座は十六、すなわち、一枚の枠板の下に二つの台座、次の枠板の下にも二つの台座となる。26 あなたはまた、アカシア材の横木を作らなければならない。すなわち、幕屋の一方の側の枠板のために五本、27 幕屋の他の側の枠板のために五本の横木、幕屋の後ろの西側の枠板のために五本の横木である。28 真ん中の横木は、枠板の中央にあって端から端まで通るようにしなければならない。29 そして、枠板を金で覆い、横木の支えとして金の環を作り、横木を金で覆わなければならない。 1・月

A. 三一の神の中の一の第一の面は、三つの金の環(結び付ける横木を通すための環)に見られます。三つの金の環は初めの霊、すなわち再生し証印を押す霊、復活における三一の神のすべてを含む霊を表徴し、信者たちを結び付けるためです。

出26:29 そして、梓板を金で覆い、横木の支えとして金の環を作り、横木を金で覆わなければならぬ。

エペソ1:13 あなたがたは真理の言、すなわちあなたがたの救いの福音を聞き、また彼の中で信じ、彼の中であなたがたはまた約束の聖霊で証印を押されました。

B. 三一の神の中の一の第二の面は、梓板(人の性質を伴う信者を表徴する)を金(神聖な性質を伴う神を表徴する)で覆うことに見られます:

1. 幕屋の梓板の一はアカシア材にあるのではなく、木を覆った金にありました。これが描写しているのは、召会の中の一が私たちの人性にあるのではなく、神聖な性質を伴う三一の神にあるということです。

ヨハネ17:21 それは、彼らがすべて一となるためです。父よ、あなたが私の中におられ、私があるあなたの中にいるように、彼らも私たちの中にいるためであり、あなたが私を遣わされたことを、世の人が信じるためです。

2. 梓板の一は、金(神を表徴する)にあっただけでなく、金の輝き、金の表現(神の栄光を表徴する)にもありました。今日私たちの一は三一の神の中にあり、また彼の栄光、彼の輝き、彼の表現の中にあります。**ヨハネ17:22** あなたが私に与えてくださった栄光を、私は彼らに与えました。それは、私たちが一であるように、彼らも一となるためです。**23** 私が彼らの中におり、あなたが私の中におられるのは、彼らが成就されて一となるためです。

3. 初めの霊は、金によって予表される三一の神であり、その霊の一です。金で覆うことは、実は一を拡大することです:

エペソ4:3 平和の結合するきずなの中で、その霊の一を保つことを熱心に努めなさい。

a. 私たちは金で覆われれば覆われるほど、ますます一を持ちます。私たちが神を持てば持つほど、私たちの一はますます強くなります。

b. 私たちは金で覆われるのではなく、啓示録第17章における大いなるバビロンのように、単に金でメッキされるだけであるかもしれません。私たちが持つ金の量は、私たちが真の一の中に保つのに十分ではないかもしれません。

- c. 桤板は金で十分に覆われたときはじめて、成就されて一となりました。これは、成就されて一となるのが、神をさらに得ることであることを示します。**出26:29** **そして、桤板を金で覆い、…**
- d. 長さ十五フィート(約4.6m)と幅二十七インチ(約69cm)のアカシア材の桤板を厚く覆うのに十分な金を獲得するのは、容易な事柄ではありません。金(神を表徴する)は重く、厚く、重い桤板を支え、それを他の桤板(信者たち)と共に結合するのに十分でなければなりません。**出26:16** **桤板の長さは十キュビト、桤板の幅はそれぞれ一キュビト半としなければならない。**
- e. 一は私たちの人性の中ではありません。一は完全に三一の神の中にあります。成就されて一となることは、神をさらに得ることを意味します。

ヨハネ17:21 **それは、彼らがすべて一となるためです。父よ、あなたが私の中におられ、私があるあなたの中にいるように、彼らも私たちの中にいるためであり、あなたが私を遣わされたことを、世の人が信じるためです。23** **私が彼らの中におり、あなたが私の中におられるのは、彼らが成就されて一となるためです。また、あなたが私を遣わされたこと、あなたが私を愛されたように彼らを愛されたことを、世の人が知るためです。**

私の負担は、真の一が絶対に私たちの人性の中に見いだされるのではないということ指摘することです。もしあなたがへりくだっているなら、あるいは柔和であるなら、他の人たちと一であることができると思ってはなりません。あなたがどれほど柔和であっても粗野であっても、緩慢であっても俊敏であっても、高ぶっていてもへりくだっていても、教養があってもなくても、私たちはみな一に対して問題を持っています。自分自身の中で、自分自身によって、自分自身をもって、私たちは絶対に他の人たちと一になることはできません。実は、私たちは自分自身とさえ常に一ではありません。…一は金にあるのであって、アカシア材にあるではありません。これが意味するのは、召会の一は私たちの人性にあるのではないということです。それは完全に三一の神の中にあります。過去に、私はなぜ主が一のための彼の祈りの中で、謙虚、柔和、親切などの美德を述べなかつたのかと思いました。そうではなく、主はおもに三一の神の中にいることについて語りました。ヨハネによる福音書第17章21節から23節の概念は、三一の神の中にある一という概念です。これは一が人性にないことを啓示します。それは三一の神の中にだけあります。

「主よ、私は悔い改めます。私はただ金でメッキされているだけです。私はまだ覆われていません。私があるあなたについて経験したのは、単なるメッキにすぎません。他の人に私を称賛させるには良いのですが、それは真の一には、すなわち、私を他の人たちと共に結合するには十分ではありません」。

4. 「十分な量の神を持っていないことが、一についての重大な問題を造り出し得ます。主の回復は運動ではありません。私たちは多くの人を得ることを願っていません。回復の中で私たちは金の真の重さに関心があります。重要な質問はこうです:あなたはどれほどの神を持っているでしょうか? 主の回復は、神が彼の回復された民をご自身で覆うことにかかっています」。

5. 一とは、三一の神の中へと深く浸り込んで、私たちが金で完全に覆われるに至ることです。私たちの問題は私たちが神に欠けていることであり、私たちの必要は神をさらに得ることです:

おそらく、あなたは召会生活の中で堅固に立っている人でしょう。これは非常に良いのですが、三一の神の中の一についてはどうでしょうか? 私たちはみな柁板を覆うために十分な神の分け前が必要であり、また柁板を結び付ける環のために神の最高の分け前が必要です。私たちは普通の金と金の最高の分け前の両方を持つとき、一に対して何の問題も持たないでしょう。しかしながら、私たちは必要な金を得ないなら、遅かれ早かれ問題を持つでしょう。私たちは堅固な一が必要です。この一は、私たちが獲得した十分な量の神です。教えや教理に頼ってはなりません。さらに、あなた自身の愛やあなたの天然の愛情に頼ってはなりません。あなたの安定した意志でさえ、一を保つ上では信頼することのできないものです。一のために依り頼むことのできるものは、ただ一つだけです。それは十分な量の神です。柁板が金の中でのみ一であり得たように、私たちが神の中へと浸り込むことによってのみ一であり得るのです。

コロサイ2:19 かしらに結び付いていないのです。この方から、からだ全体は、節と筋によって豊かに供給され、結合され、神の増し加わりによって成長するのです。

ピリピ3:8 しかしさらに、私はまた、私の主キリスト・イエスを知る知識の卓越性のゆえに、すべての事を損失であると勘定します。その方のゆえに、私はすべての事で損失を被りましたが、それらをちりあくと勘定します。それは、私がキリストを獲得するためであり、9 そして、キリストの中に見いだされるためです。それは、律法に基づく私自身の義を持つのではなく、キリストにある信仰を通しての義、すなわち、信仰に基づく神からの義を持って、10 キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて、

a. あらゆることは、私たちがどれほど金を持っているかにかかっています。私たちはみな、もし金に欠けるなら、異議を唱えることになる可能性があります。

b. 今日、主はこの真の一を必要としています。もし私たちがこの一を持っていないなら、回復の中で前進することはできません。

c. この堅固で、真実な一の中に保たれる唯一の道は、十分な量の経験された神を持つことです。

6. 神の金の性質は決して私たちの墮落した性質を覆いませんが、アカシア材によって表徴される、私たちの再生され造り変えられた性質だけを覆います:
- a. 金で覆うことは、この造り変えと同時に起こります。造り変えがある所はどこでも、金で覆うこともあります。
- b. 造り変えは、私たちが主を愛し、彼と接触し、彼の言葉に聞き従い、彼に祈り、霊にしたがって歩くことにかかっています。私たちはこの五つの事を持っている限り、キリストを生きています。
エペソ1:13 あなたがたは真理の言、すなわちあなたがたの救いの福音を聞き、また彼の中で信じ、彼の中であなたがたはまた約束の聖霊で証印を押されました。
ローマ8:4 それは律法の義の要求が、肉にしたがってではなく、霊にしたがって歩く私たちにおいて、満たされるためです。
ピリピ1:19 というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことが私にとって救いとなることを知っているからです。 20 そこで、私の切なる期待と希望は、私がどんな事にも恥じることなく、かえっていつものように、あらゆる事で大胆になって、生きるにも死ぬにも、今なおキリストが、私の体において大きく表現されることです。 21 なぜなら、私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは益であるからです。
- c. 私たちがみな造り変えられ、金で覆われるときはじめて、私たちの間で異議を唱える可能性はもはやなくなります。唯一の保護は金で覆われることです。
Ⅱコリント3:16 しかし、彼らの心が主に向く時はいつも、そのおおいを取り除かれます。 17 そして主はその霊です。そして主の霊のあるところには、自由があります。 18 しかし、私たちはみな、主の栄光をおおいのない顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです。
ローマ12:2 またこの時代にかたどられてはいけません。むしろ、思いが新しくされることによって造り変えられなさい。それは、何が神のみこころであるか、すなわち何が善であって、喜ばれ、完全なものであるかを、あなたがたがわきまえるようになるためです。 3 私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがた一人一人に言います。自分自身について思うべきことを超えて、思い上がることなく、むしろ神がそれぞれに割り当てられた信仰の度量にしたがって、冷静な思いで思うべきです。 4 一つの体の中には多くの肢体があり、そしてすべての肢体が同じ機能を持っていないように、 5 私たちも数は多いのですが、キリストの中で一つからだであり、そして各自は互いに肢体なのです。

C. 三一の神の中の一の第三の面は、結び付ける横木に見られます。横木は四十八枚の桹板を共に保持し、それらを一とならせます。この結び付ける横木が表徴するのは、初めの霊が結び付ける霊となり、キリストのすべての肢体を結合して一つからだとならせるということです：出26:26 **あなたはまた、アカシア材の横木を作らなければならない。すなわち、幕屋の一方の側の桹板のために五本、27 幕屋の他の側の桹板のために五本の横木、幕屋の後ろの西側の桹板のために五本の横木である。28 真ん中の横木は、桹板の中央にあって端から端まで通るようにしなければならない。**

1. 結び付ける横木はアカシア材で造られ、結合する強さのためであり、結び付けるために金で覆われていました。その横木がアカシア材で造られたことは、その霊の一がキリストの神性だけでなく、彼の人性とも関係があることを示します。
2. 実は、結び付ける横木が表徴するのは単に聖霊だけではなく、私たちの人の霊とミングリングされた聖霊、すなわちミングリングされた霊であり、神性と人性の両方を含んでいます。
3. 幕屋の桹板の結び付けることは、横木がそれぞれの桹板にある環を通過し、桹板を共に結合することと関係がありました。これが表徴するのは、キリストにある信者たちの霊がその霊と協力し、こうして結び付ける霊に彼らを通して、彼らを他の信者たちと結合していただくとき、彼らが結び付けられるということです。
4. 結び付ける霊が私たちを通過し、こうして私たちを他の人と結合するために、私たちは十字架を受け入れる必要があります。なぜなら結び付ける霊は常に、桹板を交差しているからです：
 - a. 私たちが結合されて一となるのは、私たちの霊(私たちの思い、意志、感情を伴う)が交差する霊と協力することによります。私たちの霊が交差する霊と一になるときはいつも、私たちは結び付ける霊を経験します。
 - b. 初めの霊は、私たちの内側で結び付ける霊とならなければなりません。そのとき私たちは一と建造を持ち、異議と分裂から保護されます。
 - c. 「このメッセージは聖書の学びの結果ではありません。それは極度の苦難の結果です。私はこの苦難のゆえに、主の御前で大いに訓練されてきて、状況を理解しようとしてきました。徐々に、ある愛すべき人たちが三つの環のほか何も持っていないのを、主は私に見せてくださいました。彼らには、造り変えがなかったのを、金の拡張はありませんでした。造り変えがなかった原因は、異議を唱える者の経験の中で、十字架の対処がなかったということです」。
 - d. 私たちはキリストの復活の力を通して、彼の死に同形化されます。
 - e. 私たちが行ない言うあらゆることは、十字架を通してその霊によって、キリストのからだを建造するために、キリストを他の人の中へと分与することでなければなりません。

経験(ビジネス・ライフ編):

- ① 一は私たちの人性の中ではありません。一は完全に三一の神の中にあります。成就されて一となることは、神をさらに得ることを意味します。

ヨハネ17章は、御父の御名の中で、聖なる言葉の聖別を通して、神聖な栄光の中で信者は成就されて一となると言っています。詩歌(補充本)18番は、ヨハネ17章のこれらの点についてのものです。

御名の中で: 11 聖なる父よ、あなたが私に与えてくださったあなたの御名の中(命の中)で、彼らを守ってください。それは、私たちのように、彼らが一となるためです。

御言葉を通して: 17 彼らを真理の中で聖別してください。あなたの言は真理です。

神聖な栄光の中で: 22 あなたが私に与えてくださった栄光を、私は彼らに与えました。それは、私たちが一であるように、彼らも一となるためです。 あなたは自分自身の長所に頼って兄弟姉妹と一になれると考えてはいけません。それは不可能です。この一は三一の神の中にだけあるからです。あなたは毎日、a)いつでも、主の御名を呼び、主の中で御父に近づき、神聖な命を享受し、b)毎朝、御言葉を祈り読みし、主を食べ飲み享受し、c)職場や家庭で、栄光のキリストを内側から外側に表現すべきです。そのような生活は神を増し加える生活であり、あなたは成就されて、兄弟姉妹と一となります。

- ② 三一の神の中の一の第三の面は、結び付ける横木に見られます。横木は四十八枚の桟板を共に保持し、それらを一とならせます。この結び付ける横木が表徴するのは、初めの霊が結び付ける霊となり、キリストのすべての肢体を結合して一つからだとならせるということです。

結び付ける霊は、私たちを通して他の人たちに交差することを求めています。問題は、私たちが進んで彼に協力するかどうかです。私たちの霊が交差する霊と一になるときはいつでも、私たちは結び付ける霊を経験します。私たちがその霊にしたがって歩くときはいつでも、その霊の交差することを体験します。私たちは立っていますが、その霊によって交差されています。私たちの霊が彼に協力しないなら、その霊は決して私たちを通して交差しないでしょう。私たちの霊が交差する霊に同意するとき、私たちは結び付ける横木を持ちます。…この結び付ける横木についてのこのような理解は、私たちの経験によって確認されます。このことが起こるために、私たちの霊(私たちの思い、意志、感情を伴う)が彼と協力しなければなりません。そのときはじめて、私たちは、結び付ける横木を持ち、三つの列の五本の横木は信者たちを結び付けて一にならせます。

あなたは交差する霊に開き、服して、配偶者、霊的パートナー、地区の兄弟姉妹と組み合わせられ結合されるべきです。神の御心は、あなたが他の肢体と共に建造されて、三一の神の一を拡大することです。 7

詩歌(補充本)18番

- 1 ちちはいのちの源泉、子たちはなが表現。
ちちの御名のなか、なれはいのちの源泉。
なれのいのちのなか、われらはすべていち。
なれのいのちのなか、ちちよ、われらはいち。
- 2 何とかん謝すべきや、神せいなみことば、
なが性しつ浸透し、この世から分離する。
みことばをとおして、われらはすべていち。
みことばをとおして、われらはいちとなる。
- 3 三いちのかみの栄光！われらかみの子ら。
何というしゆくふく、えい光をひょう現する。
なれの栄光のなかで、われらはすべていち。
なれの栄光のなかで、われらはいちとなる。

1081 Worship Of The Father - His Name, His Word, His Glory

- 1 Father God, Thou art the source of life.
We, Thy sons, are Thine expression;
In Thy name, our dear possession.
Father God, Thou art the source of life.
In Thy life, in Thy life,
We have oneness in Thy life.
In Thy life, in Thy life,
In Thy life, O Father, we are one.
- 2 How we thank Thee that Thy holy Word
With Thy nature, saturates us;
From the world it separates us.
Thank Thee, Father, for Thy holy Word.
Through Thy Word, through Thy Word,
We have oneness through Thy Word.
Through Thy Word, through Thy Word,
Through Thy holy Word we're all made one.

补620 父使我们成为一

- 1 赞美父神是生命源头，我们在你宝贵名里，
作你众子来彰显你。赞美父神是生命源头。
在生命里，在生命里，在父生命里我们是一。
在生命里，在生命里，在父生命里我们是一。
- 2 感谢父藉你宝贵圣言，用你性情浸透我们，
分别我们脱离俗尘。感谢父赐你宝贵圣言。
藉你圣言，藉你圣言，藉你圣言，我们成为一。
藉你圣言，藉你圣言，藉你圣言，我们成为一。
- 3 哦，三一神的神圣荣耀！众子得享何等福分！
神的荣耀彰显无尽—哦，三一神的神圣荣耀！
在荣耀里，在荣耀里，在你荣耀里我们是一。
在荣耀里，在荣耀里，在你荣耀里我们是一。

- 3 Oh, the glory of the Triune God!
We're His sons, oh, what a blessing!
We His glory are expressing-
Oh, the glory of the Triune God!
In Thy glory, in Thy glory,
In Thy glory we are one.
In Thy glory, in Thy glory,
In Thy glory we are all made one!

